



AIR motomoto 企画

## meta Green meta

夜に近づく

—園田昂史個展—

2026.3.21 (土)~4.27 (月)

※3月28日(土)は臨時休館日

13:00-19:00 ※ただし入場は18:30まで

at AIR motomoto

開館日 毎週 土・日・月

AIR motomotoは、熊本県荒尾市のアーティスト・イン・レジデンス施設です。国内外のアーティストの招聘を行い、滞在作家の研究のサポート、同施設のギャラリースペースや企画協力のスペースにて成果展示、イベントを開催しています。

鑑賞：300円

※本施設2Fはギャラリーと関係ない個人宅ですので、ご来場の際は1階の入口をご利用お願いいたします。

ギャラリー所在地

〒864-0012 熊本県荒尾市本井手749-4  
当施設前に駐車場あり(5台まで駐車可能)

お問合せ

kumamotomotomoto@gmail.com

AIR motomotoの所在地はグリーンランドから、車で約3分程度、九州産交バス・荒尾駅発5番バス・野中(荒尾)バス停より徒歩1分です。

# meta Green meta

## 夜に近づく

憧れのグリーン 2023 - 現在

2023年11月、私は初めて荒尾に滞在した。

そこで強く惹かれたのが、遊園地グリーンランドの観覧車だった。歴史的背景によって結びつくグリーンランドと万田坑。その二つの場所に共通して現れていた「グリーン」に、私は惹かれた。

私はこれを「憧れのグリーン」と呼ぶことにした。

それは光や空へと結びつくものとして捉えられるのではないかと考えた。

この思考はドイツでの制作へと引き継がれ、やがてケルンの空を飛ぶ緑のオウムへとつながっていく。

しかし、近づこうとすればするほど、色としてのグリーンは失われていった。

2026年、私は再び荒尾に滞在している。

夜のグリーンランドは、ほとんど何も見えないほど暗い。まるで穴の中にいるみたいだと思った。

そこで今回は、上ではなく下を目指してみることにした。足で踏みしめることのできる場所へ。

そこでどのような「憧れのグリーン」に近づくことができるのか。

その期待を胸に、いま荒尾の地に立っている。

園田昂史

### 展覧会イベント

園田昂史

ギャラリートツアー &

コーヒータイトム鳥たちと一緒に

2026.3.21 (土)

13:30-14:15

定員15名 要予約 参加費 500円

会場：AIR motomoto ギャラリー

13:30～(45分程度)

作家・園田昂史による展覧会ツアー

滞在期間や制作に至るまでのお話をガイド形式で。

#### <申し込み方法>

メール件名を「園田昂史イベント参加希望」とし  
本文に以下を明記の上

kumamotomotomoto@gmail.com

までお送りください。

①参加者氏名 ②参加人数 ③代表申込者電話番号

※当日予約無しでも受入可能な席があれば参加可能



AIR motomoto



園田 昂史

SONODA Takashi

1989年、熊本県生まれ。

2014 広島市立大学大学院彫刻専攻 修了

2023 アラマス大学 ヨハンブレームクラスマイスターシュラー課程 修了  
個展

2024 Green Piece (AIR motomoto, 熊本)

2023 Wie ist dein Name Jetzt? (BauSchau, デュッセルドルフ, ドイツ)

2023 遠くの花 (アラマス大学, アルプター, ドイツ)

2022 スコットランドの花 (Freiheitsaushalten, ケルン, ドイツ)  
グループ展

2025 CODE COLOGNE (Kunsthafen im Rhenania ケルン, ドイツ)

2025 Pluie de myons (Galerie 59 Rivoli, パリ, フランス)

2025 25 Jahre Kunsthalle Kleinschönach (クラインシェーナッハ, ドイツ)

2022 二人展 園田昂史、武田竜真 (清力美術館, 福岡)

2022 Our Attitudes (熊本市現代美術館, 熊本)

2022 どこかで?ゲンビ (広島駅南口地下広場ショーウィンドウ (広島市南区松原町 9-1)  
(主催、広島市現代美術館、広島)

場所と形の関係性に関心を持って制作している。土地や環境、そこに立つ自分自身との距離を更新するための方法として「変身」という行為を行なっているように感じている。植物や砂、川、空気といった、その場所に存在する自然の一部に成ってみること。その経験から生まれる気づきを手がかりに、物語を紡ぐように、絵画や映像、インスタレーションとして視覚化している。

2023年度 AIR motomoto 招聘作家・園田昂史は、本年1月から本施設に2度目の長期滞在、制作を開始しました。1度目のレジデンスで園田に生まれた「グリーンとはなにか」という問いと探求は、本施設での滞在を終え、ドイツに戻っても続けられました。作家は、複数の国と幾つもの夜を跨ぎ、心と足の赴くまま制作を継続し、思考と試みの範囲を広げています。3年という時間をかけて、園田の作品はより深く、幅のあるものへと変貌しています。「憧れのグリーン」を目指す園田昂史の現到着点の、AIR motomotoへ足を運んで観て頂けたら幸いです。